

# ダニエル・カールの

## 聞きたい! 消防団

第26回

### 石川県金沢市消防団連合会

今回は、東京から新幹線で約2時間半をかけ、石川県の金沢市をお訪ねしました。

金沢市は北陸新幹線が開通し、観光地として一層人気となりました。金沢市消防団といえば、毎年、出初式で披露される伝統の加賀<sup>とび</sup>鳶はしご登りで有名ですが、その消防団のルーツとなる加賀鳶は今年で発祥300年を迎え、多くの注目を集めています。一方、女性団員によって、新たにハンドベル隊が結成されるなど、新しい取組

も積極的に行っているそうです。今回は、そんな金沢市消防団連合会の皆さんに、はしご登りやハンドベル隊の活動などについてお尋ねしたいと思います。

それでは、金沢市消防団連合会の土谷守会長、澤<sup>さわ</sup>飯英樹副会長、鍋谷有介副会長、女性消防団員の石岡佐貴子班長、村谷<sup>やすよ</sup>恭代班長、北川清美班長からお話を伺いましょう。



前列左から、石岡班長、ダニエル・カール、村谷班長、北川班長  
後列左から、澤飯副会長、土谷会長、鍋谷副会長（金沢市消防局で撮影）

## 金沢市の概要について

**ダニエル** まずは金沢市の概要を教えてください。

**澤飯副会長** 金沢市は、石川県のほぼ中心に位置し、北西は日本海に面し南東は白山連峰に続く山々を境に富山県と接しています。

市内には、犀川と浅野川の二大清流が貫流し、市の中心部に加賀百万石前田家の居城、金沢城公園と特別名勝、兼六園があります。

また、本市は幸いにも戦火を免れたことから、繁華街に林立する近代建築と長い土堀を巡らした武家屋敷や寺院群・茶屋街など城下町の面影が優雅に調和する都市です。

金沢市の人口はおよそ46万人で、北陸3県の中では最大の都市となっています。



紅葉と兼六園



冬のひがし茶屋街

**ダニエル** ありがとうございます。加賀藩の中心部ということで、古い町並みが綺麗に

残っている、大変歴史の古い街ですね。北陸新幹線が開通してからは、観光地としても特に人気が増しているところですね。

## 金沢市消防団の概要について

**ダニエル** 金沢市消防団の概要を教えてください。

**土谷会長** 第一、第二、第三消防団の下に49分団が組織されており、各消防団の緊密なる連絡調整と健全な運営を図るため、金沢市消防団連合会が設置されています。市の中心部から主に南東側が第一消防団、北側が第二消防団、海側が第三消防団という管轄に分かれていて、全49の分団から構成されています。

**鍋谷副会長** 団員数は約1,100名です。金沢市の人口から見れば、1,100名は決して多くはありませんが、特徴的なところといいますと、私も金沢市消防団は常備消防と一緒に活動を行います。49の全分団に、消防ポンプ自動車を持っていますので、消火活動のみならず、交通事故で救助者がいたら救助するなどという活動も行うことができます。救急車は持っていませんが、それ以外の活動は常備消防と一緒に活動をわれわれも行っているということです。

**ダニエル** すごいですね。消防職員の数はいくらいなんですか？

**土谷会長** 職員はおよそ420名です。

**ダニエル** そうすると、消防団員と消防職員を合わせて1,500人ぐらいの規模があるわけですね。それは頼もしいですね。

## 防災対策など

**ダニエル** この辺で一番心配な災害はなんですか？

**土谷会長** 金沢は台風などの自然災害は割

と少ないのですが、豪雨による災害が10年前に発生しています。市内の山間部で発生した豪雨による浅野川水害というものがあまして、川の氾濫により、避難指示が出される、大きな災害でありました。そういうことで豪雨災害がやはり心配されます。

**鍋谷副会長** あとは、金沢というのは、幸い、第二次世界大戦の戦禍に遭っていないというか、空襲被害がほとんどないのです。それは幸せなことなのですが、金沢は特に伝統的な建造物が多いのです。

**ダニエル** 城下町の街並みが残っていますから、歴史的に価値のある建物が多いですね。

**鍋谷副会長** はい。そういった区画は狭い道や袋小路が多く、第一、第二、第三、各消防団のみんながそういう場所を抱えているのです。

**ダニエル** なるほど。火災や災害が起きた時は大変ですね。

**鍋谷副会長** はい。例えば、2年前に糸魚川市で発生したような火災などには、いつもわれわれ3団長、各分団の分団長は気をつけているというか、心配をしております。

**ダニエル** 金沢は災害が少ないけれども、やはりそれでも気を付けなければいけないところ、地域的な特徴がやはりいろいろとあるのでですね。

**土谷会長** はい。部分焼、全半焼という火災は1年に25回ぐらいは必ず金沢のどこかで起きていますから、火災には敏感です。

**ダニエル** 新幹線ができて、観光客が増えてきたことをよく聞きますが、大事な観光資源である街並みを守ることも、消防団の大事な役目のひとつなのかもしれませんね。これからオリンピックに向けて国内外からの観光客が増えると思いますので、皆さんにはぜひ頑張ってほ

しいです。

## 加賀鳶はしご登りについて

**ダニエル** 金沢市の消防団は加賀鳶はしご登りで有名だそうですね。

**土谷会長** はい。加賀鳶はしご登りは平成7年に金沢市の無形民俗文化財になり、平成21年に石川県の無形民俗文化財にもなっています。消防団員は消防団活動をしながら加賀鳶はしご登りも一緒にやっています。消防精神を伝え、加賀鳶の伝統を受け継いで、はしご登りも一緒にやっているというのが消防団としては珍しいかなと思っています。



加賀鳶はしご登り

**ダニエル** はしご登りというのは、元々は火消しの方がやっていたものですか。

**澤飯副会長** 江戸時代の火消しが、はしごの上に登って火事の状況などを確認していたものです。およそ300年前、徳川吉宗の将軍時代に各藩の大名に火消し隊がつくられ、加賀藩の江戸屋敷でもそれをつくったのですが、特に加賀藩は派手好きですから、その衣装がすごく立派だったそうです。それで、江戸の町民の間でも加賀の纏まと、はしご登りはすごいぞと評判になって、歌舞伎の演目に加賀鳶というのもできたそうです。



**ダニエル** ここに飾ってある纏もすごく立派ですね。

**土谷会長** ええ。特に金沢は金箔の生産でも有名なので、装飾が華やかなんですよ。

**ダニエル** すごくかっこいいですね。小学生とか、小さい頃から見ていると、やってみたいと思う子もいるのではないのでしょうか。

**澤飯副会長** 将来、そういった子たちが消防団に入ってくればいいなという期待もあります。

**ダニエル** そうですね。

**澤飯副会長** 実際に、そういう子供たちが大人になって消防団員になっている人もいますよ。

**ダニエル** やっぱりそういう例もあるんですね。加賀鳶はしご登りをされているのはみんな消防団員なのですか？

**澤飯副会長** はい。加賀鳶はしご登り保存会の会員は消防団員です。防火思想の普及も、消防団員にとっては大事なことなので、はしご登りで関心を集めて、市民の皆さんに「火事に気を付けてくださいよ」と注意を促すPRにもなっています。

**ダニエル** なるほど。防火のアピールにもなるわけですね。

加賀鳶はしご登りはお祭りの時などに披露するのですか？

**鍋谷副会長** 全分団が一堂に会してはしご登りの演技を披露するのは出初式だけです。

あとは、百万石まつりとか、他には全国の大会などで、ご依頼があったらそこへ行って演技をします。

**ダニエル** なるほど。こちらに加賀鳶発祥300年ののぼりがありますが、記念になにか特別なイベントなどをするのですか？

**土谷会長** 金沢市はフランスのナンシー市と姉妹都市提携を結んでいて、11月の終わりから12月の初めにかけて、そこに遠征して、はしご登りを披露することになっています。

**ダニエル** 海外にも日本のはしご登りが紹介されるのですね。それはすごいですね。では、今頃から練習が盛り上がる場所ですか。

**土谷会長** そうですね。

**ダニエル** ぜひ頑張って海外の人にも日本の消防団の伝統を伝えてほしいですね。

## ハンドベル隊の活動について

**ダニエル** 金沢市消防団といえば、歴史と由緒のある加賀鳶で有名ですが、他にもハンドベル隊というのがあるそうですね。皆さんがそのハンドベル隊のメンバーですか？

**石岡班長** はい。私たち女性消防団員がハンドベル隊を結成して頑張っています。

**北川班長** 私たち金沢市消防団のハンドベル隊は「金澤レッドベル」というのですが、他にも、「レッド」は消防のイメージカラーで、「ベル」というのは実はフランス語なのです。「BELLE」と表記するのですが、女性形容詞で「美しい」という意味があります。フランス語の「BELLE」とハンドベルの「ベル」をかけた二重の意味があるんですよ。

**村谷班長** 美しい音色を皆さんにお届けしたいという意味を込めて命名しました。

**ダニエル** なるほど。消防団というと、どうしてもハードなイメージがありますが、ハンドベルの音色は、柔らかく美しいイメージがあってとてもいいと思います。それに、古い歴史を持つ加賀鳶と、ハンドベル隊という新しいチームが両立しているのは、金沢市消防団のとてもユニークなところですね。

ハンドベルと言えば、クリスマスのイメージがありますが…。

**北川班長** はい。デビューは去年の暮れのクリスマスでした。広報活動の一環という形で、クリスマスの日に皆さんの前で防火コンサートをしまして、たくさんの人に聞いていただきました。



クリスマスコンサートの様子

**ダニエル** ハンドベルのチームは何人ぐらいでやっていらっしゃるのですか？

**北川班長** 金沢市は女性消防団も3団に分かれてまして、定員は1つの団に8人で、計24人、現在は23人で活動しています。

**ダニエル** 皆さんはどのくらいの頻度で練習をするのですか？

**北川班長** 練習は、今のところ月に2回ですね。やはり女性団員というのは家事もあったり、お仕事をしていたりの方もあるので、なかなか合わせる時間が取れなくて、そのくらいの頻度になります。

**ダニエル** ハンドベル隊結成のきっかけは何だったんでしょうか？

**村谷班長** 3団まとまって同じ活動をしたというのが趣旨で始まりました。いつも活動は別々ですし、交流もなかなか少ないのですが、金沢は観光客の方も多いですし、団員一同で何か活動をする際には、やはりお互い顔を合わせ

てコミュニケーションをきちんと取れていないと連携が取れないので、そのきっかけづくりにはハンドベルで音楽を通してコミュニケーションを取ろうということになりました。

**ダニエル** ハンドベル隊というのは全国的に見ても珍しいですね。なぜ、ハンドベルをやってみようということになったのですか？

**石岡班長** 全国女性消防団員活性化大会というのがあって、私たちも何回か参加させていただいているのですが、その中でハンドベルはいなかったのです。だから、誰もやっていないのをやろうということで、チョイスしたのです。

**ダニエル** オンリーワンということですね。それじゃあ、かなり目立つというか、宣伝にもなりますね。

**北川班長** そうですね。今は活動が始まったばかりですけども、女性団員という存在をまず知ってもらうのが大事だと思います。加賀鳶はしご登りは、私たちにはできませんので、ハンドベル隊は女性消防団員のいいPRになると思います。

**ダニエル** 女性消防団員を少しでもアピールする目的もあるのですね。

**土谷会長** はい。金沢に女性消防団員が誕生して12年目になりますがまだまだアピールする必要があると思います。

**ダニエル** 僕はハンドベルの演奏はしたことがないのですが、どのように演奏するのですか？

**石岡班長** 今日は実物をお持ちしていますので、良かったら、触ってみてください。

**ダニエル** ありがとうございます。用意して下さったのですね。これは実際に使っているものですか？

**石岡班長** はい。実際に演奏で使用してい

るものです。



演奏で使用するハンドベル

**ダニエル** 全部で12個ありますが、一つのパフォーマンスをするのに大体このくらい必要なのですか？

**北川班長** 実際にはもう1ケース分あります。一人2つずつ持って演奏するので、一曲演奏するのに最低でも7～8人は必要です。

**ダニエル** 大勢で演奏することもあるんですね。

**村谷班長** はい。一人では演奏できない楽器なので、みんなの交流がすごく活性化されて、とても楽しいです。

**ダニエル** それはとてもいいことですね。チームワークも良くなるし、団員同士仲良くなれそうです。

今年も演奏を披露する予定はあるのですか？

**村谷班長** はい。12月になったら、演奏会がありますので、ぜひ聞きに来てください。

**ダニエル** それはぜひ聞きに行かねばなりませんね。

## 団員確保の取組

**ダニエル** ハンドベルの話と加賀鳶はしご登りの話もいろいろとお伺いしましたが、新しい団員の入団促進のために、なにか取り組んでいることはありますか？

**澤飯副会長** 団員募集のためのPRのためにやっているわけではありませんが、百万石まつりに加賀鳶行列というのがあるので、毎年はしご登りの演技を披露しています。それ自体がPRにはなっているかもしれません。

毎年当たり前にやっているけれども、それで消防団の存在は知ってもらえるのではないかと思います。

**ダニエル** 消防団の活動だと認識している方は多いということですね。やはり、毎年続けるというのは大事なことです。

団員はサラリーマンが多いのですか。

**土谷会長** はい。多いです。

**澤飯副会長** 約7割がサラリーマンです。

**ダニエル** サラリーマンが昼間は自分の近所にはいませんので、それが一番のネックなのですね。全国的に、どこへ行っても、大体、中都市から大都市までそれがすごく大変な問題なのですね。

**鍋谷副会長** はい。しかし、なり手が全くいないのかというと、1対1で話をすると若い人たちの中にも機会があれば消防団の入団について真剣に考えたいという人はいるのです。いるのですけれども、ミスマッチというか、なかなかマッチングしないというのが現状です。

**ダニエル** なるほど。

**鍋谷副会長** 自分から手を挙げて消防団へ入りたいとはなかなか言えませんし、でも、一人一人に聞くと機会があればやってみたいという人は結構いると思うのです。そういった人たちと消防団をどのようにマッチングするかが課題だと思います。

**ダニエル** まちのため、近所のため、金沢のためだなどというところはもちろん誰だってやりたい、貢献したいという思いがどこかにある

のだけれども、それにどれぐらい時間が許されるかというのは、忙しい現代の皆さんには悩み所ですよ。

**澤飯副会長** 消防団員の入団促進に関しては、私どもで活性化推進研究会というのをつくって、今の若い人たちに入団してもらうためにはどういう方法があるだろうかということを考えています。消防団の幹部、分団長などに入っていて、現場の声を生かして次の施策を考えています。

あとは、学生向けに、女性消防団員の皆さんに各大学に出向いてもらって、広報活動をしてもらっています。

**ダニエル** 大学生ですか。

**澤飯副会長** はい。大学祭などに出向いてもらって、パンフレットやチラシを渡して、声掛けをしています。

**ダニエル** そういったところで、どうすれば入団しようと思えるか若者の意見を聞いてみるのもいいかもしれないですね。



取材の様子



取材の様子

## 対談を終えて

金沢市にはテレビ番組のロケなどで何度か訪問しましたが、歴史的な街並みや伝統ある加賀鳶など、誇るものがたくさんあって、とてもいいところだと訪れるたびに思います。

今回の取材でも、金沢市の消防団の皆さんのお話から、住民だけでなく、伝統や遺産を守ることに貢献することで、地域を守っているという誇りを感じました。また、ハンドベル隊の皆さんは、演奏活動についていきいきとお話して下さったのがとても印象的で、今までにないものに挑戦しようという熱意を感じました。

これからも、伝統を受け継ぎながら、新しいものもどんどん取り入れて、頑張ってもらいたいですね。

金沢市消防団の皆さんのいっそうのご活躍をお祈りいたします。  
(ダニエル・カール)